

## 会 議 事 録

1 会議名	令和5年度第1回長岡市水族博物館協議会
2 開催日時	令和5年7月14日（金） 午後3時から午後4時30分
3 開催場所	長岡市寺泊文化センター（はまなす） 3階 大研修室
4 出席者名	協議会委員 柳下委員長、金内副委員長、赤川委員、大浦方委員、鹿目委員 品田委員、清水委員、遠山委員  委員以外の出席者 竹内教育部長、近藤寺泊支所長  （事務局＝科学博物館） 小熊科学博物館長、神保科学博物館長補佐 青柳寺泊水族博物館長、井村総括主査、矢引主査 田中会計年度任用職員
5 欠席者名	石井委員、家後委員
6 議題	報告（1） 令和5年度事業実施計画・状況について  （2） 水族博物館整備事業の計画（概要）について
7 審議結果の概要	（1） 令和5年度事業実施計画・状況について 概要を事務局より説明  （2） 水族博物館整備事業の計画（概要）について 概要を事務局より説明

8 審議の内容	
	<p>(1) 令和5年度事業実施計画・状況について (資料により説明) 主な意見は次のとおり。</p>
委員	<p>オリジナルグッズのマカロン付箋を使い切った後に残るカバー部分の 良い活用方法はないか。「職員はこのように活用している」などの情報 があれば発信してほしい。</p>
事務局	<p>使い終わったカバー部分の活用を検討する。</p>
委員	<p>以前、学童保育の手伝いで私が寺泊水族博物館のペンギンのタオル ハンカチを使っていたら、1年生の男の子が「俺も持っている」と言 って持ってきてくれたが、「ハンカチはペンギンしか売っていない。俺 はカメが欲しい。」と言っていたので、今日お伝えしておく。</p> <p>Twitterについて、寺泊水族博物館のツイートに「リプライ」や「い いね」がよくついている。リプライに対して、返信や「いいね」をし てもらえるとTwitterユーザーはすごく喜ぶと思う。</p>
事務局	<p>返信はしない方針である。悠久山小動物園でも行っていない。</p>
委員	<p>前回の協議会で提案した子供用便座の設置について、早速対応して いただいたが、トイレブースの中に置かれているため分かりにくい。</p>
事務局	<p>子供用便座を設置したトイレブースの扉に張り紙等をする。</p>
委員	<p>1番水槽前のアクリルケースの中に「知っていましたか？私たちの 海の悲しい現実」というタイトルで、海の漂流物やごみが砂の上置い てあり、SDGsの目標の一つである「海の豊かさを守ろう」に関連 する展示であると学芸員から聞いた。</p> <p>「学校の先生から『教育に使えるよう、そういったものを展示でき ませんか』という話があったので考えてみた」とのことで、そうした 展示は普通、実際に流れてきたごみを置いて、「海は今こんなに汚れて いるんですよ」と来館者にアピールするだけで終わるが、寺泊水族博 物館の展示は小さなウミガメのフィギアの脇に旗が三本立っており、「①ごみが多くて地上に出られない」と書かれ、次に「②魚網に絡</p>

事務局	<p>まる」とあり、実際にウミガメのフィギアが絡まっている。最後に「③出るのに時間がかかって、本来夜にウミガメの赤ちゃんが出てくるのが、朝になってしまうから鳥に食べられる」と書いてあり、本当に良くできていると思った。ただごみを置いて汚れていると伝えるだけでなく、そうした創意工夫を凝らした展示をじっくり見ることで、どんどん見えないものが見えてくる。特に子供たちには、一つ一つの展示を丁寧に見てもらえると汚染の現状とその影響が見えてくる。</p> <p>「展示を見てもらって『海が汚れているね』で終わってしまうのではなく、自分たちが汚れた海を綺麗にするにはどうしたらいいか、各自がどういうアクションを起こしたらいいかというところまで伝えるのが非常に難しい」と学芸員が話していたが、これからも、展示の意味を上手く、深く伝えるよう期待している。</p> <p>秋のビーチコーミングでは、漂着生物だけでなく大量のごみが海岸に打ちあがっている現実を子供たちに体験してもらい、どう向き合っていけばいいのか考えてもらえるよう話をしている。また、梅雨時期、海岸に海藻が打ち上がり、その層がやがて厚くなり、腐って異臭を放つ。こうした問題も子供たちに話をし、理由があつてこうなっている現実を分かってもらいたい。バックヤードツアーでもこの話をしている。</p> <p>こうした問題は一つの施設で解決できるものではなく、自治体や市民の皆様とともに真剣に考えていかないといけないと思う。</p> <p>この現実を子どもたちや保護者の方にお話していければと思っている。</p>
委員	<p>今後の水族博物館の運営を考えると、県内に限ってみれば、規模やスケールはもちろん、ショーや珍しい生き物の展示についても「マリリンピア日本海」「うみがたり」にはとてもかなわない。</p> <p>しかれば、寺泊ならではの真似のできない運営をしていくに尽きると思う。寺泊水族博物館のロケーションはどこにも負けない。景色が四季折々、時間とともに刻々と移り変わるこのロケーション、さらに寺泊の海には砂浜があり、藻があり、岩礁があり、非常に変化に富んでいる。しかもそこに信濃川が流れ込んでいる。こんな素晴らしい環境に恵まれたところ、これを取り入れない、使わない手はない。</p> <p>てらどまり若者会議が作成した水生生物の下敷きは、寺泊水族博物館が関わって作られたということだが、素晴らしい取り組みだ。こう</p>

委員	<p>いうところにほかでは真似できないような今後の在り方の芽、素晴らしいロケーションを使って何をしていくかというヒントがあるような気がする。</p> <p>水生生物の下敷きも、作りっぱなしではなく学校の児童たちにも配られているので、児童たちの反応なども踏まえ、また一つ進化させていく、そういう動きが必要だと思う。みんなで力を合わせて、各分野で知恵を出し合って、寺泊ならではの水族館を造っていきたいと思う。</p> <p>今、長岡市内の児童たちには一人一台タブレット端末が配られ、このタブレットを開くと最初に「長岡教育情報プラットフォームこめぷら」が自動で開くようになっている。その中の「学びの扉」というページに寺泊水族博物館の「サメにドキドキタッチ」の紹介動画がある。</p> <p>その動画が、開催終了後も人気の動画として上がっており、再生数が非常に多い。今後もイベントなどをこめぷらに掲載して欲しい。</p> <p>昨年、館長が持っているたくさんの資料を掲載できたらうれしいという話をしたが、「授業の扉」というページもあるので、そこでもタイアップしてもらえればと思う。</p> <p>「職業の扉」というページもあり、寺泊の漁師の仕事を掲載しているが、常にトップ10に入る人気動画で、トキと自然の学習館も掲載されている。こめぷらは児童たちがすごく触れるものなので、うまく連携していける良い。</p> <p>海辺や淡水で生息するいろいろな生き物に興味を持つ子ども向け動画があると、リピーターになってくれると思うし、保護者にとっても水族館がより身近になると思う。</p>
事務局	<p>少ない職員で、Twitterへの投稿やこめぷらの更新を行っていくのはハードであり、そちらに時間を取られると通常の業務が疎かになってしまうことも考えられるが、子供たちに水族館のことを知ってもらえる内容を提供させていただければと思っている。</p>
委員	<p>こめぷらの担当者は、「ある程度の資料を頂ければ、編集した後、最終チェックを行っていただくような形式もとれる」と言っていたので上手く活用できると良い。</p>
委員	<p>寺泊水族博物館はコラボに頼らず、ここでしか買えないオリジナルグッズのみを販売しているのが良いと思う。大きな水族館ではコラボ</p>

委員	<p>商品を売り出しているが、どこで買ったかが分かるオリジナルグッズが良いと思う。</p> <p>レシート割引利用者の人数を見ると、寺泊水族博物館はリピーターが多く、強みになると思う。最近は忙しくて訪れる暇がなかったが、今日協議会前に立ち寄ってみたところ、前回訪れた時と変化があって楽しかった。夏休みにまた寺泊水族博物館を利用しようと思っている。</p> <p>寺泊水族博物館とてらどまり若者会議が協力して作製した下敷きを、寺泊小学校の子供たち全員がもらうことが出来た。てらどまり若者会議の代表から説明していただき、子供たちは大喜びだった。机の引出しの中に入れ、休み時間に出して見ている姿を確認している。</p> <p>六年生の授業で、てらどまり若者会議の代表からどんな活動をしているか解説を行っていただいた。若い方だったため、子供たちはとても影響を受け、良い刺激になった。</p> <p>最近学校でもなるべく外に出る機会を増やすようにしている。やはり外に出ないと寺泊が大好きな子にならないと感じている。</p> <p>二年生はこの前寺泊水族博物館に見学に行き、「楽しかった」という感想が出ていた。体験というものが子供にとって大切だと感じているので、今後もいろいろなものに触れる機会を増やせるようにしたい。</p> <p>寺泊小学校の校長室前に水槽があり、子供たちが毎日のように手を入れて遊んだりしている。この間は、教員が海から持ってきたヤドカリを手に乗せて観察していた。「誰か教えてくれないかな」という声をよく聞くので、学校で疑問が出た時に水族館から電話などでも回答してもらえると嬉しい。</p>
委員	<p>寺泊水族博物館の脇で「てらスポ」が実施しているカヌー体験があり、カヌー体験の後に寺泊水族博物館の館長から海洋生物の解説をしていただける。私の子供は、このカヌー体験に参加したことをきっかけに海が好きになった。海を好きになるきっかけはこういったところにもある。</p> <p>寺泊には、いろいろな遊べる場所、楽しめる場所があるので、そういった部分とうまくかみ合っていると良いと思う。</p>
事務局	<p>先ほど話に出た寺泊小学校の水槽は、十年以上前に当時の校長先生からの提案で設置した。何かあれば相談に乗りますので、遠慮なく言って欲しい。</p>

	<p>(2) 水族博物館整備事業の計画（概要）について （資料により説明） 主な意見は次のとおり。</p>
<p>委員長</p>	<p>市の方は寺泊水族博物館のリニューアルについてどういった考えでいるのか。</p>
<p>教育部長</p>	<p>寺泊水族博物館のリニューアルは、大河津分水路の拡幅工事、寺泊港の利活用構想と連動しているため、いつ次の段階に進めるか明確な回答を出せない。小・中学校も老朽化が進んでいる中、フェニックスプランを作成して市全体で施設の長寿命化に動いており、明確な方向性が決まるまでは、寺泊水族博物館も何らかの方法で維持していくことになると思われる。</p> <p>これまで出た意見のとおり、地域性が寺泊水族博物館の特色として表れている。情報発信をより多く行って盛り上げていければと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>水族館と動物園はセットで考えられることが多いが、水族館は「海水ろ過装置」など多くの設備が稼働しているプラントである。当然、老朽化が動物園に比べて著しい。</p> <p>マグロの水槽で有名な東京都の葛西臨海水族園は建築後三十年だが、既に建て替えの計画が進んでいる。水族館を持続するには建て替えなければならないという現実がある。</p> <p>この協議会内でも水族館建て替えの話が10年以上前から進んでいないが、大河津分水路との絡みでなかなか単独で新水族館の話は出来ないという現実も我々は理解している。実際に今の建物が耐えられるものなのかどうかといった調査をしたうえで、最低限の整備を進めていただきたいと思っている。</p> <p>今までは現館長が寺泊町時代から引っ張ってきてくれたが、新たに発展していくには、やはり若い方たちにバトンタッチしていく、これまでの寺泊水族博物館のことを理解している若い力を育てていく必要がある。</p> <p>水族館は魚がいれば良いと思っている人もいるが、魚はあくまで材料であり、それらをどう見せるかというスタッフの力量によって水族館のレベルが違ってくる。</p>

<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員長</p> <p>事務局</p>	<p>旭山動物園は、予算が無い時から自分たちの夢を絵に描いていて、それを一つ一つ実現し、あんなにヒットした。今すぐの建て替えが無理なのであれば、最低限、建物の維持をしつつ、新しい水族館を見据え「どんな水族館を造りたいか」を考えられるスタッフを育ててもらえたらと思う。</p> <p>マリンピア日本海などはTwitterでハッシュタグつけている。以前、寺泊水族博物館と共同で活動をした際には、ハッシュタグで寺泊水族博物館の名前を入れてくれていたりしているのを見たことがある。</p> <p>寺泊水族博物館もハッシュタグをつけてツイートすることで、関連して見てくれる人が多くなるのではないかと思う。</p> <p>若い職員がツイートに関連するハッシュタグをつけて活用している。Twitterに投稿する内容についてはそんなに大仰なネタは必要ないので、日ごろのちょっとした出来事をツイートしている。</p> <p>いずれにせよ、寺泊水族博物館を残すには建て替えなければいけないため、この協議会でどこに建てればいいのか等の方向性を検討しておく、今後プラスになるかもしれない。</p> <p>新しい水族館を建てるにあたって、大河津分水路から流れ出る砂にどう対処するか、どうやって海水を確保するか、そのために一番ふさわしい場所はどこかといった点を考えていく必要がある。</p> <p>先ほど水族館を維持するのに大切なのは人材であるという話が出たが、そのとおりだと思っている。令和6年度採用の正規職員で、動物飼育技術職員を7月10日から募集している。市のホームページにも掲載しているので、是非周知して欲しい。やはり水族館を維持していくには、良い人材がいないと尻すぼみになってしまうので、良い人材を確保できればと思っている。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>